

ウルトラオリエンテーリング 松本城-上田城 2017 プログラム

開催日: 2017年 10月 14日(土)

集合地: 上田城跡公園内旧大河ドラマ館(上田市)

解散地: 松本神社(松本市)

集合地と解散地が異なります。ご注意ください。

重要事項

- この競技は一般の交通ルールや社会マナーを守った上に得点ルールを重ねたものです。交通ルールを守り、安全に競技してください。
- 救急搬送が必要な事故が発生したときは、その場から119番通報してください。携帯電話にあるGPS情報が救急本部に通知されます。そのあと大会本部に知らせてください。
大会本部電話 090-3333-0893(木村佳司)
- ソロ参加では決して無理をしないでください。体に異変があればすぐに本部まで電話してください。

アクセス



集合地: 上田城跡公園内旧大河ドラマ館(長野県上田市)

自家用車

上信越自動車道「上田菅平インター」から4km 約12分

上田城跡北観光駐車場をご利用ください。1日1000円です。

公共交通機関

スタート時間に間に合う公共交通機関はありません。上田市内に前泊し、徒歩かタクシーでご来場ください。



解散地: 松本神社(長野県松本市)

自家用車

集合地近くに自家用車を置いてきた場合は、公共交通機関を使用して自家用車まで移動してください。

公共交通機関

解散地の松本神社から JR 篠ノ井線松本駅まで徒歩1.5km。

上田駅へは JR 篠ノ井線「篠ノ井駅」でしなの鉄道に乗り換えが必要です。

入浴施設

塩井乃湯 営業時間 15:00-20:00

(0263-32-1507)

競技の流れ

5:00-5:30 受付 上田城跡公園内旧大河ドラマ館

- 提出物 携帯電話番号申告表
- 配布物 地図セット(1人1組)
トラッキング用GPS端末(チーム1台)、
ナンバーカード1人1枚
- トラッキング用GPS端末は主催者より貸与します。必ず競技中は携帯し、フィニッシュ地点で主催者に返却してください。参加者はGPS端末を操作する必要はありません。GPS端末は主催者が参加者の状態を把握するためのものです。
- 荷物預かり 1人手荷物1個程度の荷物をフィニッシュ地点まで輸送します。貴重品は荷物として預けず、携帯してください。
- お送りした荷札にチームナンバーと氏名を記入して、荷物につけて受付に預けてください。
- 交流会参加者はここで交流会参加費をお支払いください。
- 更衣室はありません。トイレはあります。

5:40 開会式・競技説明 上田城跡公園

- ・簡単な開会式と競技説明を行います。
- ・プログラムを読んできていただいていることを前提に、変更点と注意点のみの説明とします。

6:00 スタート 上田城跡公園

- ・スタート位置：上田城東虎口櫓門前
- ・スタート前に全員で記念撮影を行います。
- ・6:00に一斉スタートです。
- ・スタート時刻になるとGPS端末が自動的に起動します。

9:00 別所温泉エイド関門 あいそめの湯

- ・上田城から14km(コース距離)に別所温泉エイドを設けます。ここで通過確認を行います。参加者は必ず立ち寄ってください。ナンバーカードを競技役員に見せてください。
- ・ここはコース上のコントロール位置ではありませんが、地図上にエイド位置が示されています。
- ・ここで通過証明用の写真を撮る必要はありません。
- ・仮にここで通過確認の記録がなくても、GPS軌跡などで通過が確認されていれば、失格とはなりません。
- ・8:00までにエイドを通過できない方は、サポートカーで閉会式会場まで移動します。拒絶することはできません。
- ・トイレがあります。靴のまま入れます。
- ・別所温泉エイドでは飲食物の振る舞いがあります。(厄除けまんじゅう、水、スポーツドリンク)

14:00 保福寺エイド関門 保福寺公民館

- ・松本城から36km(コース距離)に保福寺町エイドを設けます。ここで通過確認を行います。参加者は必ず立ち寄ってください。ナンバーカードを競技役員に見せてください。
- ・ここはコース上のコントロール位置ではありませんが、地図上にエイド位置が示されています。
- ・ここで通過証明用の写真を撮る必要はありません。
- ・仮にここで通過確認の記録がなくても、GPS軌跡などで通過が確認されていれば、失格とはなりません。
- ・トイレが保福寺町公民館内にあります。
- ・14:00までに保福寺エイドを通過できない方は、サポートカーで閉会式会場まで移動します。拒絶することはできません。

- 16:00 フィニッシュ 松本城公園

- ・チームは必ず全員揃ってフィニッシュしてください。
- ・フィニッシュにデジタル時計を用意します。このデジタル時計を写真に収めてください。写真に撮影された時刻をフィニッシュ時刻とします。

- 16:30 閉会式会場 松本神社

- ・フィニッシュしたら速やかに閉会式会場へ移動をお願いします。フィニッシュ地点から徒歩500m。松本城公園の中を歩いて行くことができます。
- ・スタート前に預けた荷物を受け取ってください。
- ・男女別更衣室があります。

-16:30 通過の確認 松本神社

- ・フィニッシュしたチームは速やかに競技役員による写真確認を受けてください。競技中に撮影したデジタルカメラの画像を見せていた

だき、写真ひとつひとつ確認します。

16:00 表彰式 松本神社

- ・各クラス上位3組を表彰します。(男子、女子、混合、男子ソロ、女子ソロ)
- ・賞状及び賞品をお渡しします。

(18:00) (交流会) こばちゃん

- ・任意参加の交流会です。参加費¥4,000。

競技の説明

競技の概要

- ・フィールド内に23個のコントロール(目標場所)と2箇所のエイドステーションを設定します。それぞれのコントロールとエイドステーションを主催者が指定した順番通り通過してください。
- ・コントロールとエイドステーションを示す地図を競技前に配布します。地図を見ながら、作戦を考え、自分たちの力で巡ってください。
- ・通過証明方式はデジタルカメラ(携帯電話のカメラ機能も可)の写真撮影によります。
- ・エイドステーションでは通過確認を行います。必ずエイドステーションに立ち寄って役員の確認を受けて下さい
- ・この競技は一般の交通ルールや社会マナーを守った上に得点ルールを重ねたものです。交通ルールを守り、安全に競技してください。
- ・グループはスタートしてからフィニッシュするまで必ず一緒に行動してください。原則としてすべてのメンバー間の距離が30m以内になるように行動してください。(肉声が届く範囲を目安としています)

フィールド・コース

- ・上田城(長野県上田市)を出発し、松本城(長野県松本市)を目指すコースです。旧東山道と旧江戸道を辿るルートとなるようにコースが設定されています。
ルート距離 約52km
最高標高 1,350m
最低標高 430m
スタート地点標高 440m
フィニッシュ地点標高 590m
途中で標高約1000mの峠と、1350mの峠を通過する。

- ・コースの大部分は舗装路です。2車線道路のところもあれば、シングルトラックの部分もあります。
- ・ルート上には防獣柵(鹿柵)があります。防獣柵のゲートは通常は閉まっていますが、手で開けることができます。ゲートを開閉して通過してください。通過後は必ず閉めてください。防獣柵を開けたままに閉め忘れると、野生動物(主に鹿)による農作物への食害が出る恐れがあります。防獣柵の通過(ゲートの開閉)に、およそ1分かかります。ゲートの位置は地図に表記しています。

デジタル写真撮影による通過証明方式

- ・地図面にコントロール位置説明も印刷してあります。これにはコントロールにある特徴物の写真を掲載してあります。
- ・この特徴物の前でメンバーを入れてデジタルカメラで写真撮影することで、通過証明とします。ソロ参加のかた

は、特徴物の撮影のみとしてください。

- フィニッシュ後、通過箇所の検証を行います。競技中に撮影した写真がすぐに確認できるモニター画面をもったカメラを準備してください。
- コントロール設定された場所には、もともとそこにある特徴物があるだけです。主催者はこの競技のための特別な器具は設置していません。

競技中の移手段

- 移手段は歩行または走行とします。
- 一切の乗り物は使用禁止です。

給水・給食

- 主催者にてエイドステーションを2ヶ所設置します。エイドステーションでは地域のふるまいの軽食と水、スポーツドリンクがあります。
- 競技中の飲食物の購入は自由です。トレイン（競技地域）には自動販売機、コンビニがあります。レース中にお金を携帯することをお勧めします。

禁止事項

- 競技役員に競技の中止を通告された選手がそれを拒んで競技を続けること。各関門時刻に間に合わなかった場合は、競技役員の指示に従ってサポートカーでフィニッシュ地点まで移動してください。
- 競技を中断し、無連絡で帰宅すること
- 競技中にゴミを捨てること
- 防獣柵（鹿柵）のゲートを開けたまま閉めないこと
- 金属ピン付シューズを使用すること（木道の保護）
- 競技時間、関門時間を超過すること
- 携帯電話などの連絡手段を持たず出走すること
- 歩行または走行以外の移手段を使用すること
- ペットなど動物を連れて競技すること
- 仮装で参加すること
- グループ以外の者の補助を得ること
- グループが別れて行動すること（いずれも緊急時を除きます）

許可事項

- 防獣柵（鹿柵）のゲートを開けて通過すること。ただし、通過直後にゲートを閉めることが通過の条件です。
- ナビゲーション補助用具は使用できます。（コンパス、GPS、高度計、距離計など）

競技規則は日本オリエンテーリング競技規則を基本とし、そこからの変更点、逸脱点を巻末に解説します。

装備

参加者に必ず準備いただく装備

携帯電話：

チームに1台。参加者で用意してください。緊急連絡用です。PHS 不可。電池切れを起さないよう、十分な充電と余裕のある使用方法をお願いします。当日の受付時に携帯電話番号申告書を提出していただきます。

モニター画面つきデジタルカメラ：

携帯電話、スマートフォンでも構いません。

参加者に準備いただく装備

マイカップ（コップ）をお持ちください！

（エイドステーションにはコップはありません。）

コンパス 参加者でご用意ください。

ファーストエイドキット、水、行動食、雨具、お金など

服装

- 濡れたり汚れたりしてもよい服と靴でご参加ください。
- コスプレや半裸での出走は禁止します。

主催者が準備する装備

受付で渡すもの

- 地図6ページ/人（両面印刷で3枚 返却は不要です）
- GPS 端末/チーム（必ず主催者に返却してください）

地図の説明

サイズ A4 / 縮尺 1:25,000 / 等高線間隔 10m

地図は国土地理院発行の25,000分の1地図を基本に、修正をおこなったもの。

磁北

- 地図の上側が磁北になるように作成しています。真北とは約7度傾いています。

通っている場所

- 基本的には地図に書かれた道を通ってください。コース図で推奨ルートとなっている区間は明瞭な道が地図に表記されてなくても、通ってよい廃道があります。
- 地図に書いていない道でも、明らかに通ってよい道は通行しても構いません。現場の状況を常識的に判断して通行してください。
- 地図上では道があるのに、現地で通行禁止になっている場所は通らないでください。
- 地図の表現能力は有限であることを許容した競技であると理解してください。

お勧めルート表示について

- 主催者が推奨するルートを地図上に薄赤色の線でマーキングします。現地には何のマーキングもありません。

レグ線について

- コースを回る順を示すレグ線（直線）は記載しません。

その他

競技中止の方針

- 最終的にはプロデューサーが現場で判断します。
- 競技中止の場合も参加者個別への通知は行いません。現地でのアナウンスのみとします。電話での個別の問い合わせがあったときは対応します。
- 中止判断の基準：長野県中部に気象上の警報が発令されているとき。
- 競技が中止になった場合でも参加費の払い戻しは行いません。

競技を途中で中止するとき

- 競技中に競技ができなくなったとき、または制限時刻に間に合わないときは、競技を中止してください。
- チーム参加の場合は、チームメンバーのうち1名が競技を中断したときは、チーム全員が競技を中止してください。
- 競技中止のときは、まず大会プロデューサーの木村佳司まで電話をしてください。(090-3333-0893)
- 競技を中止する場合は、まっすぐフィニッシュ地点に向かってください。この時は、電車、バス、タクシー、主催者が準備するサポートカーなどを利用してください。ただし運賃は参加者にてご負担ください。

誓約事項

参加される皆様は、以下の誓約事項に同意のうえで参加されたものとします。

- 1 私は、健康に留意し、十分なトレーニングをしたうえで、自己責任において参加します。
- 2 私は、主催者が設けたすべての規約、規則を理解したうえで、それに従い、大会及び付帯行事で発生した事故に対し、自己の責任において処理し、主催者・管理者並びに選手・関係者を非難したり責任を問わない事を誓います。
- 3 私は、大会開催中に主催者より競技続行に支障があると判断された場合、主催者の中止の指示に直ちに従います。また、その他、主催者の安全管理・大会運営上の指示に従います。
- 4 私は、本大会の特性や危険性を十分に理解し、主催者側の安全管理・救護体制に限界があることを認識したうえで、自己の責任において安全・体調・装備の管理を行って参加します。
- 5 私は、大会開催中の事故・傷病への補償は、主催者の加入する保険の範囲内である事を確認・承諾します。補償内容に不安がある場合は、自ら保険に加入します。
- 6 私は、大会及び付帯行事の開催中、私個人の所有物及び用具に対し、一切の責任を持ち大会主催者及び他選手、一般来場者に対してその紛失、破損等の責任を問わない事を誓います。
- 7 私は、強風、豪雨、積雪、震災、その他気象条件の悪化、事故等（それに伴う会場周辺的环境変動、社会情勢の変化を含む）により大会の中止または変更が生じても異存ありません。
- 8 私は、上記7の場合、またはエントリー申し込み後に自らキャンセル・変更した場合、参加費が返金されない事を承諾します。
- 9 私は、大会中の映像や写真を、主催者がラジオ、テレビ、新聞等のメディア及び主催者ホームページ等自由に使用することを承諾します。
- 10 私が本大会へ提出した応募書類、登録したエントリー情報の記載事項は、全て真正です。
- 11 私は、本大会で大会主催者及び関係団体が取得した個人情報、大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案

内、記録通知、関連情報の通知、次回大会の案内、確認連絡、大会協賛・協力・関係団体からのサービスの提供、記録発表等に利用されることを承諾します。

主催：長野県オリエンテーリング協会

共催：松本市、上田市、松本観光コンベンション協会、信州上田観光協会

協力：日本オリエンテーリング協会、日本ロゲイニング協会

主管：(株)未来図

〒390-0852 長野県松本市大字島立 637-2

電話：080-1355-0375

問合せ先：matsu@miraiz-corp.jp

プロデューサー：木村佳司（長野県オリエンテーリング協会）

有志交流会のお誘い

大会終了後、有志による参加者・主催者同士の交流会を行います。お気軽に参加してください。エンデュランススポーツの愛好家同士で語りましょう。

日時：2017年10月14日（土）18:00 開始

会場：こばちゃん

長野県松本市大手 2-3-10

電話 0263-31-0208

会費：4,000円 当日受付で徴収

申込：エントリーの際に申込みを受け付けています。

申込みしたが当日都合が悪くなった方、また、新たに参加を希望される方は、当日朝受付時にお申し出ください。

備考：車を運転する方は、飲酒厳禁でお願いします。

ウルトラオリエンテーリング・松本城-上田城 2017 競技規則

長野県オリエンテーリング協会

本規則は、2017年10月14日実施のウルトラオリエンテーリング・松本城-上田城2017について規定したものである。この規則は公益社団法人日本オリエンテーリング協会が制定した「日本オリエンテーリング競技規則平成25年1月12日改正版を基本とし、これを拡張したものである。

1. 定義

1.1 ウルトラオリエンテーリングとは、競技者が地上に印されたいくつかの地点（コントロール）を、地図を使用して、可能な限り短時間で走破するスポーツである。競技者とは、出場を認められた個人あるいはチームをいう。

2. 適用

2.1 本規則は、長野県オリエンテーリング協会がウルトラオリエンテーリング競技について定めるものである。
2.2 本規則は、ウルトラオリエンテーリング・松本城-上田城2017に適用される。

3. 競技会の分類

3.1 競技形態

3.1.1 昼間競技で行う。
3.1.2 個人競技、チーム競技で行う。
3.1.3 単一レース競技である。
3.1.4 ポイント競技である。
3.1.5 ウルトラオリエンテーリングである。（拡張定義部分）

3.2（欠番）

4. クラス

混合チーム：2-3人の男女で構成するチーム
女子チーム：2-3人の女子で構成するチーム
男子チーム：2-3人の男子で構成するチーム
女子ソロ：女子1名
男子ソロ：男子1名

5. 参加資格

5.1 参加資格は20歳以上とする
5.2（欠番）
5.3（欠番）

6. 競技責任者と大会コントローラ

6.1 競技責任者：木村佳司
6.2 大会コントローラは置かない。

7. 大会開催要項

7.1（欠番）

7.2 大会開催要項事項

開催年月日：2017年10月14日
集合地：上田城跡公園（長野県上田市）
主催者：長野県オリエンテーリング協会
主管者：榊未来
競技責任者：木村佳司
大会コントローラ：なし
コース設定者：木村佳司
問合せ：榊未来

申込方法：インターネット上のwebにて申込む
申込先：スポーツエントリーwebサイト
申込締切日：2017年10月5日
参加料：ソロ¥10,000 2人チーム¥14,000 3人チーム¥18,000

服装と用具に関する注意：
公序良俗に反する服装、仮装は禁止する。

競技形態

スタートからフィニッシュまで距離52kmのウルトラオリ

エンテーリング

クラスと優勝設定時間

混合チーム 2-3人の男女で構成するチーム 優勝予想6時間
女子チーム 2-3人の女子で構成するチーム 優勝予想7時間
男子チーム 2-3人の男子で構成するチーム 優勝予想5時間
女子ソロ 女子1名 優勝予想7時間
男子ソロ 男子1名 優勝予想5時間
いずれも最大競技時間は10時間

交通手段：

スタート会場の上田城まで
JR上田駅から800m

トレイン状況

ルート距離52km
スタート地点標高440m、フィニッシュ地点標高590m
途中で標高約1000mの峠を二か所、標高1350mの峠を一か所通過する。
コースは旧東山道と江戸街道を通るルート。
自動車の交通量の多い二車線道路から、人がやっと通れる山道までさまざまな道がある。
山道の比率は概ね10%。

留意事項

ソロ参加の条件として、セルフレスキューできる人とする。ここでいうセルフレスキューとは以下を指す。
・地図を読んで自力でスタートからフィニッシュまで移動できる。
・自分の補給に責任が持てる。
・自分の体調と相談して、競技が続行できないときは競技を中断ができ安全な場所まで自力で移動することができる。

トレーニング：主催者によるトレーニングの機会は設けない。

地図の形態（拡張部分）

・コースを表現するために地図を6枚使用する。
・競技者全員にコースすべての地図を支給する。
・地図仕様はすべて同一である。
競技用地図の縮尺：1:25,000
等高線間隔：10m
走行可能度表示：なし

コントロールのパンチ方法（拡張部分）

・参加者の所有するデジタルカメラによる撮影（正）
・GPSトラッキングシステムによる行動軌跡（副）
・すべての参加チーム、すべてのソロ参加者はスタートからフィニッシュまでデジタルカメラ（参加者が準備）とGPS端末（主催者にて貸与）を持って移動しなくてはならない。

スタート時刻6:00（一斉スタート）

8.（欠番）

9. スタート順

スタートは全員一斉スタートとする。（拡張部分）

10. プログラム

10.1 プログラムは、遅くとも開催日1週間前までに公表する。
10.2 プログラム記載情報

適用するオリエンテーリング地図図式

・日本国国土院の発行する1:25,000地形図をほぼそのまま利用する。
特殊記号の説明
・磁北線を地図面に記載する。
磁北線が地図用紙の垂直方向に沿ったように地図は配置される。
磁北線同士の間隔は4cmとする。
・地図の同一面にコントロール位置説明が印刷される。

ナンバーカード

・ナンバーカードをひとり1枚支給する。

- かならず競技者の見える位置に掲示する。
- コントロールカード
- 参加者が用意する画像表示機能を持つカメラを使用する。参加者はこのカメラの動作に責任を持つ。
- コントロール位置説明書の交付方法
- 地図の同一面にコントロール位置説明が印刷される。独立したコントロール位置説明は交付しない。
- スタートリスト
- 参加者リストはプログラムと同時に公開する。
- スタート地区
- スタート地区は集合場所と同じである。
- 誘導
- 本コースには誘導表示、誘導テープはない。
- 関門
- 本コースには2か所の関門が設定される。
 - 関門箇所はコース距離にしてスタートからそれぞれおよそ30%、80%の位置にある。
 - 関門時刻はそれぞれスタートから3時間後、8時間後とする。
- 給水所
- 本コースには2か所の給水所（エイドステーション）を設ける。
 - 給水所（エイドステーション）は、コース距離にしてスタートからそれぞれおよそ30%、80%の位置にある。
 - エイドステーションでは水のほか、軽食が準備される。
 - コース途中にて食料を自力で調達してもよい。
- 立入禁止
- 農地、私有地への立入は禁止。
 - 立入が認められるのは以下の箇所のみ
地図で表現されている道、小道、小径
公園、明らかに通行可能な駐車場、店舗
 - 森林の直進、ヤブコギは禁止
- 危険地帯
- 特になし
- コース距離 52km（ルート距離）
登高 1200m
最高標高 1350m
- 更衣所
- スタート会場に更衣所は無い。
 - フィニッシュ会場に更衣所はある。
- トイレ
- スタート会場に公衆トイレがある。
 - フィニッシュ会場にトイレがある。
- 救護所
- フィニッシュ会場と、各エイドに簡易の救護所を設ける。
- 競技時間
- スタートから10時間（フィニッシュ閉鎖時刻 16:00）
- 表彰式
- 表彰対象者が帰還次第、フィニッシュ会場にて仮表彰を行う。
 - 仮表彰は着順のみで行う。
 - 正確な順位は後日発表する。
- 荷物輸送（拡張部分）
- スタート会場でフィニッシュ会場へ荷物輸送を行う。
 - 荷物輸送できるのは貴重品以外である。
 - 荷物の輸送にあたって主催者は細心の注意をするが、紛失・破損の責任は負わない。
11. テレインとコース
- 11.1 テレインは旧東山道と江戸街道に沿っている。
- 11.2 コース設定は旧東山道と江戸街道を辿ることを主眼とし、ルート選択の余地は殆どない。
- 11.3 コース距離は主催者推奨ルートを迎ったときのもの。
- 11.4 登高は主催者推奨ルートを迎ったときのもの。
- 11.5（欠番）
- 11.6（欠番）
- 11.7（欠番）
- 11.8（欠番）
12. 地図
- 12.1 地図は日本国国土地理院の発行する1:25,000地形図をほぼそのまま利用する。
- 12.2 地図の縮尺は1:25,000
- 12.3（欠番）
- 12.4 個々の地図は0.08mm厚のポリ袋で防水加工されている。
- 12.5（欠番）
13. 地図上へのコースの表記
- 13.1 競技地図上のコース記号は以下のとおりとする。
オリエンテーリングの開始地点：正三角形
コントロール：円
フィニッシュ：二重同心円
- 13.2 地図上に示される三角と円の中心は、それぞれコントロールとなっている特徴物の位置を示している。
- 13.3 コントロールの円には回る順に番号を添える。オリエンテーリングの開始地点を示す三角形の頂点の一つを第1コントロールに向ける。番号は上を北にして、重要な地図細部の読みとりが困難にならないように記す。
- 13.4 誘導部分をのぞき、三角および円は、番号順に曲線でつなぐ。細部の地図読みが必要な部分では、線や円の一部を省くこととする。
- 13.5（欠番）
- 13.6 コース記号、通行禁止ルート、立入禁止区域、救護/給水所など、すべての地図への追加印刷は、地図図式に従う。
14. コントロール位置説明
- 14.1 コントロール位置説明は、番号、コントロールの説明、コントロールの写真で構成する。
- 14.2 コントロール位置説明は、地図の表面に印刷する。
- 14.3（欠番）
15. 地上における表示
- 地上における表示はない
16. コントロールの設置
- 16.1 すべてのコントロールに主催者の設置するマーカー、記印装置はない。
- 16.2（欠番）
- 16.3（欠番）
- 16.4 コントロールは250m以内に近接して設定しない。
- 16.5（欠番）
- 16.6（欠番）
- 16.7（欠番）
- 16.8（欠番）
17. コントロール通過証明
- 17.1 コントロールの通過証明
コントロールの通過証明は、以下の2通りで行う。いずれかの通過証明ですべてのコントロールを通過したと判断できればよい。
- コントロールの写真撮影による。（正）
 - GPS装置の記録による。（副）
- 17.2 通過証明装置の準備
- コントロールの写真撮影のための機材は参加者の責任で準備する。（チームに1台以上、ソロ参加者に1台以上）
 - GPS装置は主催者が貸与する。（チームに1台、ソロ参加者に1台）
スタート前に貸与し、フィニッシュで回収する。
- 17.3 通過証明写真撮影
- 競技者は各コントロールで通過証明の写真を撮影する責任を有する。
 - フィニッシュ後、通過証明写真を主催者に提示する責任を有する。

17.4 通過証明写真の提示

- ・主催者は、いくつかの指定したコントロールで、役員による競技者の写真検査を行うことができる。

17.5 GPS 装置によるバックアップ

- ・通過証明写真が役員に提示できなくとも GPS 装置による行動軌跡がコントロールの通過を証明できればよい。ただし、原理的に GPS 装置の動作は周囲の環境によって不安定となることが多く、確実に記録が取れる保証がないことを、参加者は認識しなくてはならない。GPS 装置による行動軌跡がコントロールを通過しているのかどうかの判定は主催者に一任される。この決定に参加者は異議を唱えることができない。あくまでも GPS の行動軌跡は、参加者の安全を確保するためのトラッキングが主目的であり、通過証明は副目的である。

17.6 (欠番)

17.7 (欠番)

18. スタート

18.1 スタート地点は上田城跡公園とする。

- 競技者は、スタート地点より指定された時刻にスタートする。計時はスタート地点から開始する。

18.2 (欠番)

18.3 競技者には地図をスタート会場に配布される。

18.4 (欠番)

18.5 競技は一斉スタートで行う。

18.6 (欠番)

18.7 (欠番)

18.8 スタート時刻に遅れた競技者は、スタートすることができない。

18.9 主催者側の過失によりスタート時刻に遅れた競技者には、新たなスタート時刻を与える。

19. フィニッシュおよび計時

19.1 競技者がフィニッシュ地点に到達し、フィニッシュコントロールとなる公式時計を写真撮影したときに当該競技者の競技は終了する。

19.2 (欠番)

19.3 (欠番)

19.4 フィニッシュ後、競技者はコントロール通過証明写真を主催者に提示する。

19.5 フィニッシュ地点には救護所を置く。

19.6 (欠番)

19.7 記録する所要時間は秒までとし、秒に満たない端数は切り捨てる。

20. 順位、成績および表彰

20.1 (欠番)

20.2 フィニッシュした順が、チームの最終順位となる。

20.3 着順判定員が順位判定を下す。同着はない。

20.4 競技時間はスタート後 10 時間。

20.5 フィニッシュで通過証明写真を提示できず、かつ、GPS 記録装置でコントロールを指定通りに回ったことが立証できない競技者、競技時間内に競技を終了できなかった競技者は、すべて失格とする。

20.6 競技進行中、成績の速報は、順次掲示する。

20.7 公式成績表の公表は、大会終了後 1 カ月以内に行う。

20.8 (欠番)

20.9 各クラス 3 位までを表彰する。

21. 服装と用具

21.1 公序良俗に反する服装、仮装は禁止する。

21.2 競技者はナンバーカードを、明瞭に読み取れるように装着する。

21.3 競技者は競技中に、主催者から支給される地図と、主催者から貸与される GPS 装置を携帯しなければならない。

21.4 (欠番)

22. 公正な競技

22.1 大会に関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係者、観客、テレビや大会区域に居住する人たちを尊重しなければならない。

ならない。

22.2 ドーピング行為は禁止する。主催者は、IOF が定める『ドーピングテスト実施規則』に基づいて、テストを実施することができる。

22.3 (欠番)

22.4 (欠番)

22.6 いかなる競技者も、不正な手段により他の競技者より有利な立場に立とうとしたり、走りあるいは方向決定に助力を得たりしてはならない。

22.7 競技者にとって危険な事態が発生した場合、主催者はいかなる時点であっても競技を中止または延期とすることができる。

23. 競技中の行動

23.1 競技者は、テレビン内ではできるだけ静粛に行動する。

23.2 怪我をした競技者を助けることは、競技者の義務である。

23.3 競技者は地図に示されている立入禁止区域に入ってはならない。

23.4 主催者は、環境保護のための指示を競技者に与えることができる。競技者はこれを厳守しなければならない。

23.5 (欠番)

23.6 途中棄権する競技者は、できる限り速やかに大会役員に申告しなくてはならない。申告することにより棄権となる。

23.7 競技の行われている間、競技に関係する人はそれぞれ指示された場所に留まり、他の競技者に影響を与える行為をしてはならない。

23.8 競技者は、自己の責任において、大会に参加するものとする。

24. 調査依頼および提訴

24.1 競技に関する疑義が生じたとき、競技者は競技責任者に対して調査依頼をすることができる。

24.2 調査依頼は文書で可能な限り速やかに行わなければならない。フォーマットはフリーフォーマットとする。調査依頼の制限時刻は 16:00 とする。制限時刻以降の調査依頼は、考慮すべき特別な事情がある場合にのみ認められる。

24.3 競技責任者は調査結果を、可能な限り速やかに調査依頼者に通知する。

24.4 (欠番)

24.5 (欠番)

24.6 後日公表された公式成績表に関する調査依頼は、公表後 10 日以内に行うものとする。

25. (欠番)

26. 競技規則違反

26.1 競技規則に違反した競技者は、失格となる。

26.2 (欠番)

26.3 競技規則に対する違反はすべて、大会報告書に記録する。

27. (欠番)

28. (欠番)

29. メディア・サービス

29.1 主催者は、メディア取材者に対し、好意的な機会を提供することが望ましい。

29.2 主催者は、競技の公平さを損ねない限りにおいて、メディアの報道のための最大限の努力をすることが望ましい。

30. 附 則

平成 29 年 9 月 30 日作成